

7-3 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果 (2013年5月～2013年10月) Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (May, 2013～October, 2013)

産業技術総合研究所

Geological Survey of Japan, AIST

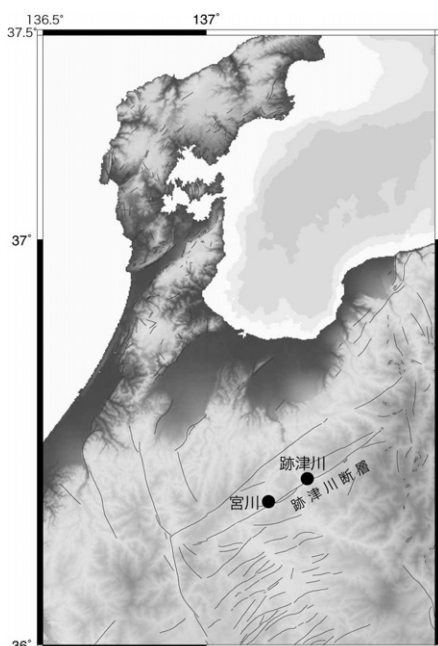
1. 観測概要

産業技術総合研究所は跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している(第1図)。宮川は深度約300mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計(1 Hz, 3成分速度計)を設置。深度256.78～267.66 mの滞水層での地下水位と体積温度計の計測も行なっている。跡津川は坑道内に深度約50mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計を設置。地下水位と体積温度計の計測も行っている。

2. 観測結果概要

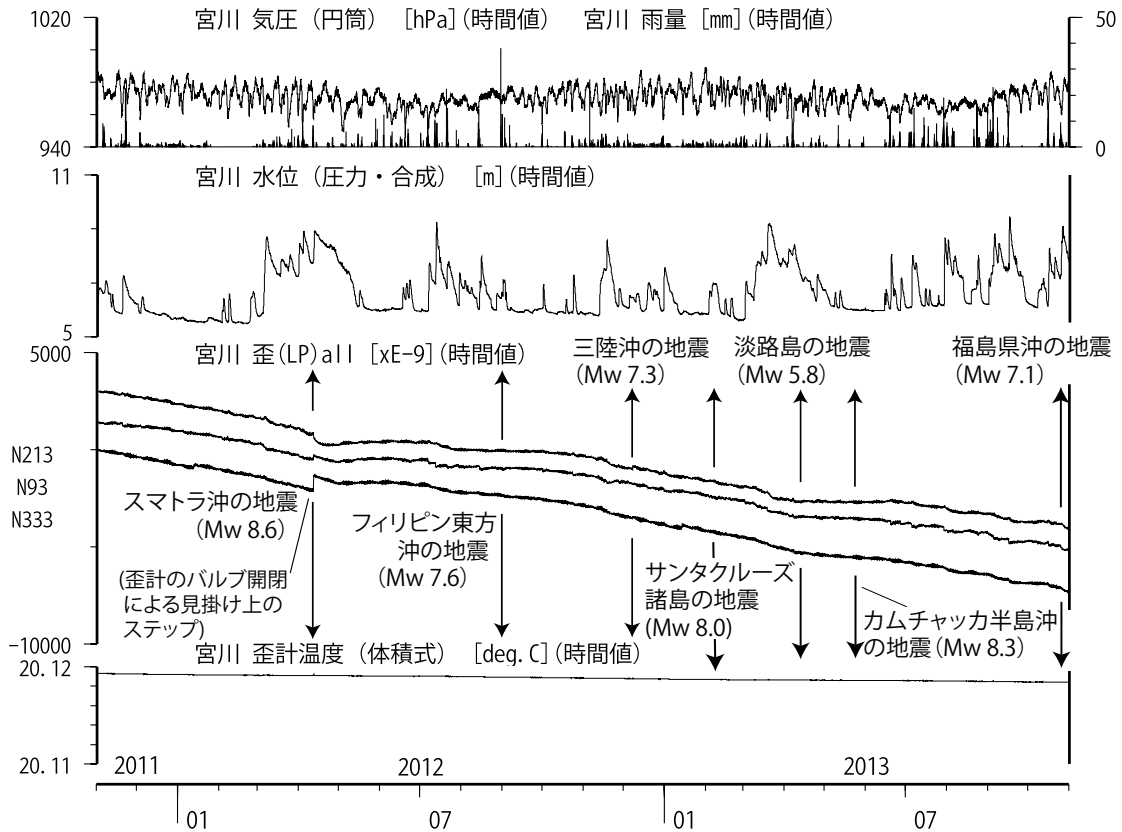
宮川(第2図) : 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。2012年4月11日スマトラ沖の地震 Mw8.6 時の歪計に見られるステップは, 波動により歪計バルブが開閉したための見かけのものである。2012年8月31日フィリピン東方沖の地震 Mw7.6, 12月7日三陸沖の地震 Mw7.3, 2013年2月6日サンタクルーズ諸島の地震 Mw8.0, 4月13日淡路島の地震 Mw5.8, 5月24日カムチャッカ半島沖の地震 Mw8.3 及び10月26日福島県沖の地震 Mw7.1 では, 歪計のステップ及び地下水位の変化は見られない。

跡津川(第3図) : 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2002年4月初旬から数カ月周期の温度, 歪の不安定な変動が続いている。スマトラ沖の地震, フィリピン東方沖の地震, 三陸沖の地震, サンタクルーズ諸島の地震, 淡路島の地震, カムチャッカ半島沖の地震及び福島県沖の地震では, 歪計のステップ及び地下水位の変化は見られない。

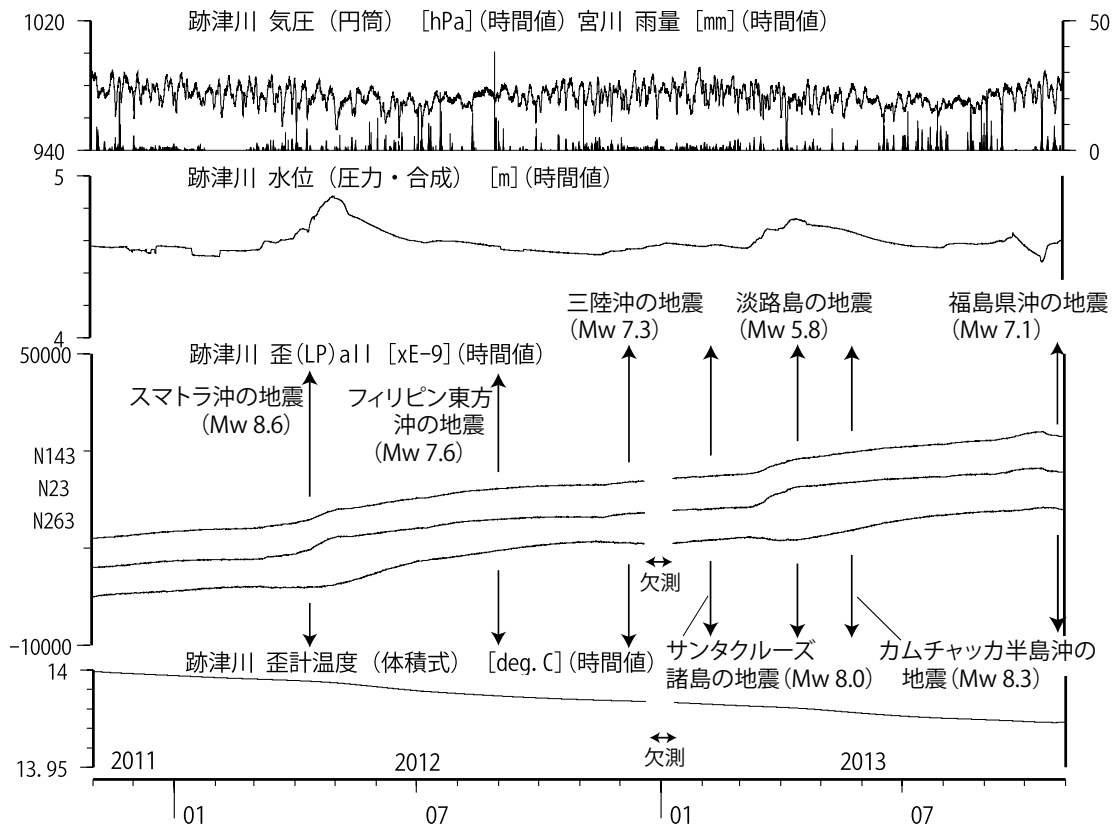


第1図 跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

Fig.1 Location map of the observation boreholes at Miyagawa and Atotsugawa along the Atotsugawa fault.



第2図 宮川における歪観測結果 (2年間)
 Fig. 2 Results of strain meters at Miyagawa (for 2 years).



第3図 跡津川における歪観測結果(2年間).
 Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 2 years).